

町立学校施設耐震診断結果【PDF】

町立学校施設の耐震診断（2次診断）結果

学校名	区分	構造	階数	完成年	延べ床面積 (㎡)	耐震診断 年月日	耐震指標 (各施設の最低値)		耐震化 状況
							Is 値	CT×SD 値	
月形小学校	校舎	RC	3階	S56	3,666	H17.07.30	0.54	0.54	H19年度改修済 改修後 Is 値 1.01
	体育館	SRC,S	2階	S55	817	H17.08.25	1.95	0.74	耐震性有
月形中学校	校舎	RC	2階	S51,52	1,985	H17.07.06	0.72	0.67	耐震性有
	体育館	S	2階	S52	826	H17.07.06	0.32	0.97	H18年度改修済 改修後 Is 値 0.71

※ SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、RC：鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造

【用語の解説】

- (1) 耐震診断：地震に対する安全性を評価すること。
- (2) 2次診断：柱・壁の量や鉄筋の量、コンクリート強度等から建物の強さと粘りを推定する診断方法。
- (3) Is 値（構造耐震指標）：建物の耐震性能をあらわす指標
- (4) CT×SD 値：建物にある程度の強度を確保する目的として、建物の形状や（SD）や累積強度（CT）に関する指標。1.25 以上では Is 値が低くても安全とし、0.3 以下では Is 値を満足しても安全としません。

【Is 値の目安】

- ・ 0.3 未満：震度6以上の地震に対して倒壊又は崩壊する危険性が高い。
- ・ 0.3 以上0.6 未満：震度6以上の地震に対して倒壊又は崩壊する危険性がある。
- ・ 0.6 以上：震度6以上の地震に対して倒壊又は崩壊する危険性が低い。

※ 国及び道では学校施設については、更に高い0.7以上のIs値が求められています。

また、国は0.3未満の施設に対しては緊急的に耐震化をするよう指導しており、0.3以上の施設については危険性の高いものから優先的に耐震化を実施するよう求めています。

※ 鉄骨造の体育館については、Is値以外に屋根の耐震性能の判定も別途必要となります。